

参考資料

検討のための参考資料集

- 環境保全活動における浄化槽の確立について（論点の例） …… 1
- 環境保全活動における浄化槽の確立に関する資料 …… 2

環境保全活動における浄化槽の確立について（論点の例）

- 地域住民が参加できる汚水処理システムとしての浄化槽の構築について
- 地域住民一人一人が水環境保全に取り組む手段としての浄化槽について
- 浄化槽の適正使用の水環境保全への貢献の普及啓発について
- ボランティア、NPOなどの環境保全活動との連携の強化について
- 浄化槽関係者の取組について

環境保全活動における浄化槽の確立に関する資料

- 環境に関する意識について
 - ◇ 環境問題への意識について …… 3
 - ◇ ボランティアの人数の推移 …… 6

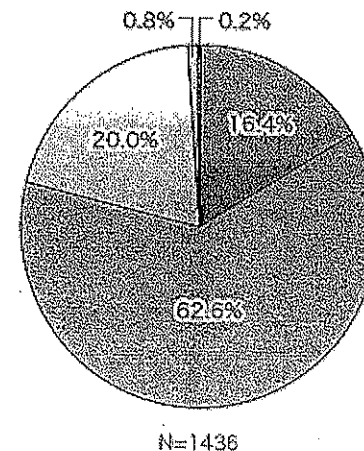
- 浄化槽に関する意識調査について
 - ◇ 浄化槽管理者に対するアンケート …… 10

- これまでの普及啓発活動について
 - ◇ 普及啓発に関する取組の例 …… 13

- 浄化槽の設置者、使用者が行える事項について
 - ◇ 環境省関係浄化槽法施行規則（抜粋）について …… 18
 - ◇ 浄化槽の設置者、使用者が行う管理について …… 19

◎環境問題への意識について

●あなたは、日頃どの程度環境問題を意識していますか。
最も近いと思うものを1つだけお選びください。

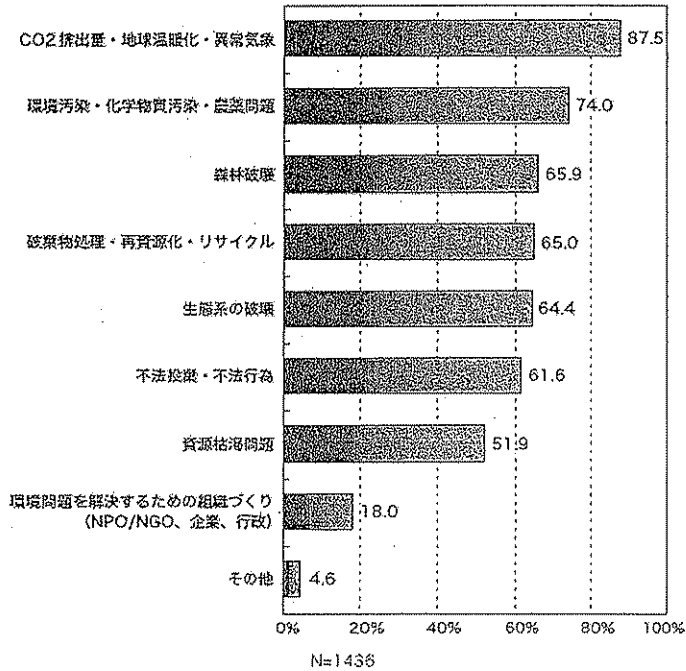


強く意識している 意識している
 あまり意識していない まったく意識していない
 無回答

※グラフの数値は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

【出典：日経BTコンサルティング（2005年10月）】

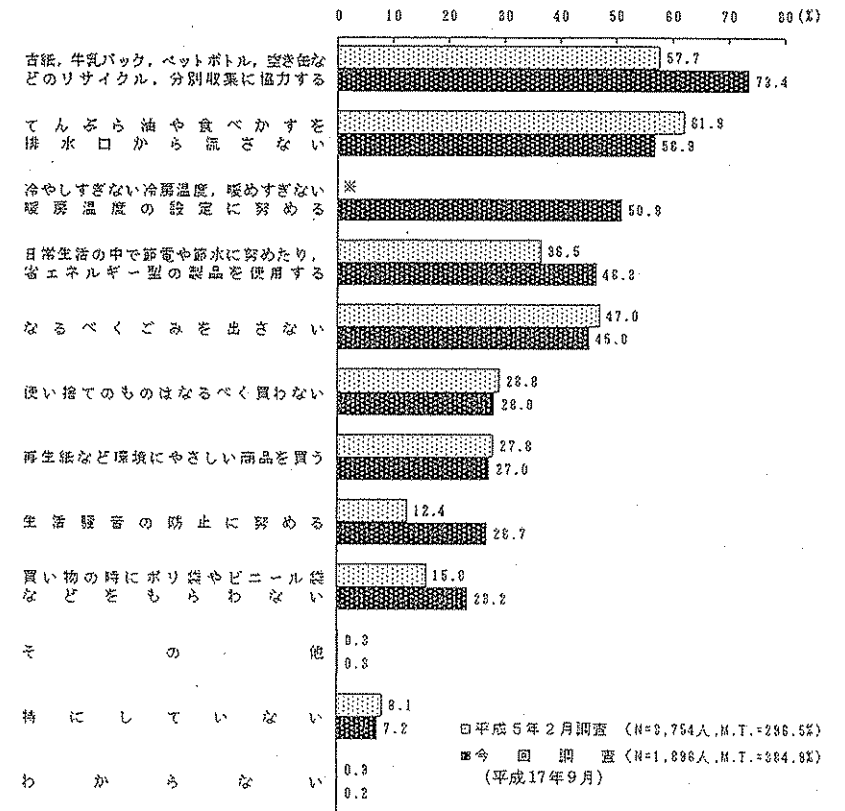
◎あなたが重要だと思う環境問題は何ですか。
 あてはまるものすべてをお選びください。(いくつでも)



【出典：日経BTコンサルティング (2005年10月)】

家庭における環境保全の取組

(複数回答)



【出典：環境問題に関する世論調査 (平成17年度、内閣府)】

◎ ボランティアの人数の推移

・社会福祉協議会が把握している全国のボランティア活動の状況

(全国で活動するボランティアの人数)

全国の社会福祉協議会において把握されているボランティアの人数(ボランティア団体に所属するボランティアの人数と、個人で活動するボランティアの人数を合計)は、7,793,967人となっている。

年次別のボランティア団体数、およびボランティアの人数の推移は以下の表のようになっており、ボランティアの把握総人数は調査が始まった昭和55年から平成16年までの25年間で、約4.9倍となった。

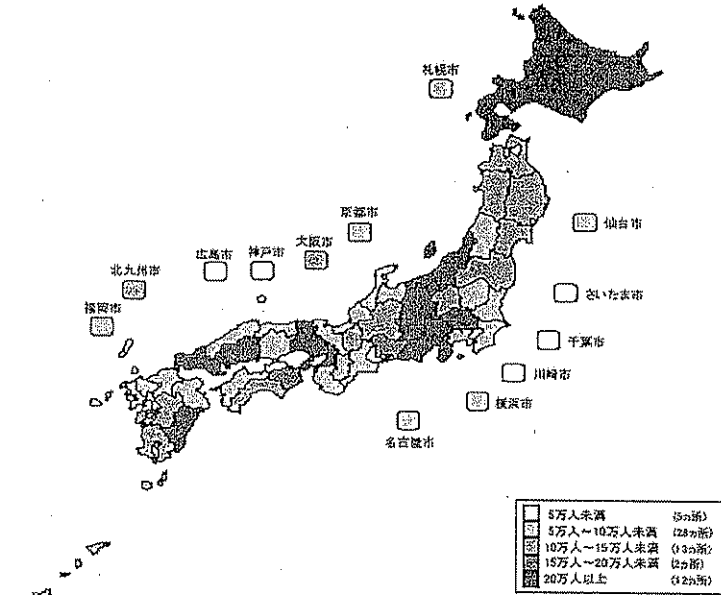
また、団体に所属するボランティアと個人ボランティアのそれぞれの伸びをみると、1980(昭和55)年と比較して、団体所属ボランティアは約4.8倍(団体数は約7.6倍)、個人ボランティアは約7.6倍になっている。

ボランティアの推移(把握人数)

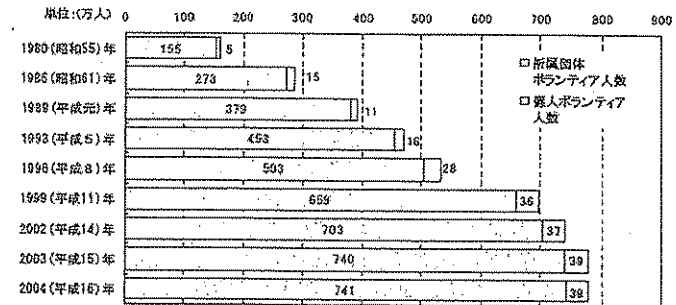
(単位: 団体、人)

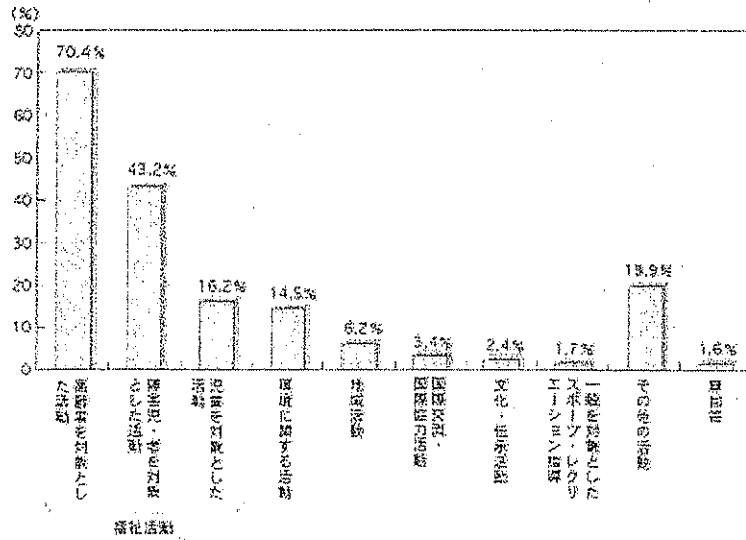
調査時期	ボランティア団体数	団体所属ボランティア人数	個人ボランティア人数	ボランティア総人数	
1980(昭和55)年	4月	16,162	1,552,577	50,875	1,603,452
1984(昭和59)年	4月	24,658	2,411,588	144,020	2,555,608
1985(昭和60)年	4月	28,462	2,699,725	119,749	2,819,474
1986(昭和61)年	4月	28,636	2,728,409	147,403	2,875,812
1987(昭和62)年	4月	32,871	2,705,995	182,290	2,888,285
1988(昭和63)年	9月	43,620	3,221,253	164,542	3,385,795
1989(平成元年)	9月	46,928	3,787,802	114,138	3,901,940
1991(平成3)年	3月	48,787	4,007,768	102,862	4,110,630
1992(平成4)年	3月	53,069	4,148,941	126,682	4,275,623
1993(平成5)年	3月	56,100	4,530,032	159,349	4,689,381
1994(平成6)年	3月	60,738	4,823,261	174,235	4,997,496
1995(平成7)年	3月	63,406	4,801,118	249,987	5,051,105
1996(平成8)年	3月	69,281	5,033,045	280,501	5,313,546
1997(平成9)年	4月	79,025	5,121,169	336,742	5,457,911
1998(平成10)年	4月	83,416	5,877,770	341,149	6,218,919
1999(平成11)年	4月	90,689	6,593,967	364,504	6,958,471
2000(平成12)年	4月	95,741	6,758,381	362,569	7,120,950
2001(平成13)年	4月	97,648	6,833,719	385,428	7,219,147
2002(平成14)年	4月	101,972	7,028,923	367,694	7,396,617
2003(平成15)年	4月	118,820	7,406,247	385,365	7,791,612
2004(平成16)年	4月	123,300	7,407,379	386,588	7,793,967

社会福祉協議会が把握しているボランティアの人数



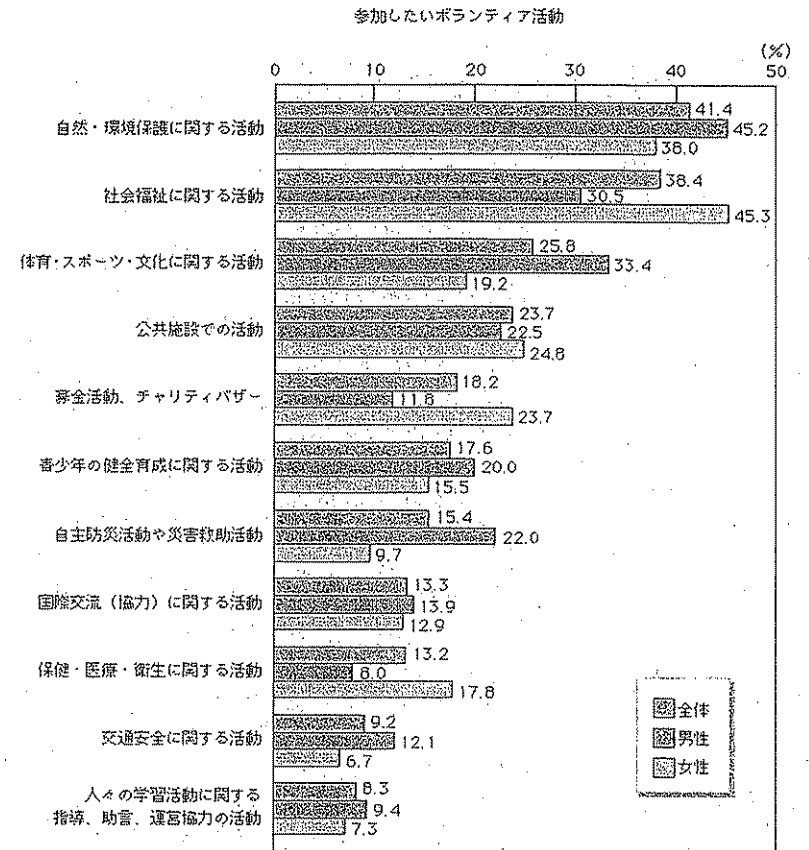
団体所属ボランティアと個人ボランティアの人数推移(把握人数)





資料：公益社団法人日本ボランティア活動支援協会(法人向け調査)「1996(平成8年)調査」
 (注) ボランティア団体に所属している人に対する調査の結果

主なボランティア活動の内容(複数回答)



備考：1. 対象は「あなたは、今後、ボランティア活動に参加してみたいと思いますか」という問いに対して、参加したい(「是非参加してみたい」と「機会があれば参加してみたい」の合計)と回答した人で、「あなたが参加したいボランティア活動は、次の分野のうち、どれにあてはまりますか。あてはまるものすべてにお答え下さい」という問いに対する回答者の割合(複数回答)。選択肢は上記以外に「その他」が1.5%、無回答が1.2%。

2. 回答者は2,580人。

出典：内閣府『平成12年度国民生活意向調査』(平成12年12月)

浄化槽管理者に対するアンケート

※(社)埼玉県浄化槽協会が、平成17年度にアンケート用紙500枚を下水道供用開始区域外の住民に郵送(200枚)及び「浄化槽設置者講習会」の出席者に配布(300枚)して回収した結果。質問は問いに対する「はい」「いいえ」の回答方式。

	郵送アンケート		講習会配布	
	回答総数30	回答率	回答総数181	回答率
	回答数 (はい)		回答数 (はい)	
1 浄化槽についてあなたのご意見をお聞かせください				
1) 環境を守るために小型合併処理浄化槽は有効な装置だと思う。	10	33.3%	132	72.9%
2) 環境を守るためには、浄化槽よりも公共下水道のほうが優れていると思う。	22	73.3%	73	40.3%
3) 何故合併処理浄化槽を使わなければならないのか理解できない。	12	40.0%	6	3.3%
4) 市民が高額の負担をしてまで環境を守る必要があるのか疑問である。	11	36.7%	6	3.3%
2、浄化槽の維持管理についてご意見をお聞かせください				
1) 保守点検・清掃・法定検査をまじめに実施している家は少ないようである。	9	30.0%	28	15.5%
2) 何年かに一度清掃は実施するが、保守点検や法定検査はやりたくない。	9	30.0%	9	5.0%
3) 業者に保守点検を委託しているのに、その上何故法定検査を受ける必要があるのか理解できない。	18	60.0%	39	21.5%
4) 保守点検と清掃は実施するが、法定検査までは受けたくない。	16	53.3%	24	13.3%
5) 浄化槽に必要な維持管理経費が高すぎると思っている。	21	70.0%	69	38.1%
6) 浄化槽の維持管理にお金がかかるのは当然だと理解している。	4	13.3%	35	19.3%
7) 保守点検と清掃と法定検査を別々に依頼するのは煩雑である。三者の一括契約を推進する等の工夫をすべきだと思う。	7	23.3%	61	33.7%
8) 自分の使っている浄化槽からきれいな水が流れているか関心を持っている。	13	43.3%	84	46.4%

9) 浄化槽の維持管理は業者に任せているのであまり関心を持っていない。	13	43.3%	14	7.7%
10) 我が家からきれいな水を流したいから、必要な維持管理(保守点検・清掃・法定検査)の全てを実施したいと考えている。	7	23.3%	59	32.6%
11) 法定検査を受けない家があるまま放置されている。まじめに検査を受けている家だけ検査手数料がかかるのは不公平である。もっと指導を強化すべきであると思う。	8	26.7%	54	29.8%
12) 全ての家がまじめに維持管理をやるようになったら自分もやろうと思う。	10	33.3%	7	3.9%
3、浄化槽に対する行政の取り組みについてご意見をお聞かせください				
1) 浄化槽を設置するための補助制度があるから十分であると思う。	4	13.3%	27	14.9%
2) 浄化槽の維持管理費用の一部を市で補助をする必要があると思う。	22	73.3%	86	47.5%
3) 浄化槽の維持管理についてのPRが不足していると思う。	15	50.0%	47	26.0%
4) 浄化槽を使用している家は、全戸が維持管理講習会に参加できるように工夫と努力をするべきであると思う。	6	20.0%	59	32.6%
4、川の汚れについてご意見をお聞かせください				
1) 川が汚れているのは政治が悪いからだと思う。	7	13.3%	30	16.6%
2) 川が汚れている原因の多くは畜産排水や工場排水だと思うので、そちらの改善を行ってから一般家庭の対策を行うべきである。	9	30.0%	40	22.1%
3) 私たちの生活が川を汚していることは理解している。	21	70.0%	118	65.2%
4) 維持管理の不十分な浄化槽も川を汚す原因になっていると思う。	11	36.7%	80	44.2%
5) 浄化槽の適正な維持管理を行うことが川を守ることにつながると思う。	12	40.0%	95	52.5%
5、地域の水環境を守ることにについてご意見をお聞かせください				
1) 川が汚れても人間の生活が不便になるわけではないので、今のままで良い。	4	13.3%	1	0.6%

2) 私たち住民の生活の中で積極的に努力する必要があると思う。	13	43.3%	112	61.9%
3) 水環境を守るのは役所の仕事であるから市や県の職員が努力すべきである。	11	36.7%	18	9.9%
4) 自然環境保護のために県や市の職員は真剣に取り組んでいると思う。	2	6.7%	17	9.4%
5) 住民と行政と浄化槽関連業界が一体となって取り組むことが必要である。	12	40.0%	99	54.7%
6) 水環境についてもっと多くの人が学習する必要がある。	9	30.0%	100	55.2%
6、法定検査についてご意見をお聞かせください				
1) 浄化槽の機能を発揮させるために必要な検査であることは理解している。	9	30.0%	94	51.9%
2) 保守点検や清掃料金は個人負担でも、検査料金は公費で負担すべきである。	16	53.3%	75	41.4%
3) 法定検査を受けていない人から「検査を受ける必要はないよ」と言われたことがある。	3	10.0%	9	5.0%
4) 環境を守るためには、すべての浄化槽の検査を実施すべきであると思う。	7	23.3%	81	44.8%
7、地域の自然環境を守るためにこれからどうしたらよいかご意見をお聞かせください				
1) 環境を破壊する行為をもっと厳しく取り締まるべきであると思う。	14	46.7%	85	47.0%
2) 国・県や市町村は、環境を守るための予算を最優先に確保すべきである。	8	26.7%	69	38.1%
3) 行政は、すべての国民を対象にした環境教育を徹底すべきである。	10	33.3%	66	36.5%
4) 環境を守ることはほどほどにしてもっと経済を優先すべきである。	6	20.0%	1	0.6%

普及啓発に関する取組の例

- ◇ 浄化槽タウンミーティング開催《環境省》
 - ・平成16年度 北海道 山形県 茨城県 静岡県 愛知県 石川県 岐阜県 大阪府 岡山県 愛媛県 福岡県 大分県 宮崎県
 - ・平成17年度 兵庫県 鳥取県 青森県 徳島県 三重県 熊本県
- ◇ 合併処理浄化槽普及促進広報事業《環境省》
 - ・ポスターの作成 (平成12年度・33,000枚)
 - ・パンフレットの作成 (同・165,000部)
 - ・ビデオの作成 (同・3,300本)
- ◇ 浄化槽普及啓発用パンフレットの作成・頒布《教育センター》
 - 「きれいな水のために 一浄化槽のはなし」(平成15年～17年・204,000部)
- ◇ 浄化槽普及啓発用パンフレットの作成・頒布《全浄協》
 - 「浄化槽・きれいな水のリサイクル」(平成17年度・78,000部)
 - 「浄化槽市町村整備推進事業」(平成16年度・14,000部)
- ◇ 浄化槽普及啓発用パンフレットの作成・頒布《全浄連》
 - ・合併処理浄化槽と上手につきあう方法(平成16年度・34,700部)
 - ・浄化槽の適正な管理 (同・22,100部)
 - ・使った水をキレイにして自然へ返そう(同・21,700部)
 - ・合併処理浄化槽 (同・7,700部)
 - ・地球環境にやさしい合併処理浄化槽の手引(同・1,600部)
 - ・まんが ガッペイショリジョウカソウってなんだ?(同・9,000部)
- ◇ 浄化槽普及啓発用パンフレットの作成・頒布《浄シ協》
 - ・快適な生活環境を守るために(平成14年度・3,000部)
 - ・浄化槽市町村整備推進事業(平成14～17年度・各15,000部)
 - ・浄化槽整備の手引き(平成14～16年度・各3,500部)
 - ・浄化槽整備普及促進ハンドブック(平成17年度・3,500部)
- ◇ 一般向け啓発ビデオの作成・配布《全浄協》
 - 「見つめて! 私たちの水辺」(平成16年度・3,880本)
- ◇ 読売写真ニュースセンター 環境保護キャンペーンへの協賛《教育センター》
 - ・「環境保護」標語用掲示板の設置
 - 設置期間 平成16年6月から1年間